

令和2（2020）年度受講生・会員募集

会員募集

【①～③の申込みについて】

申込みはいずれも令和2年4月6日（月）から受付します。申込方法等については、令和2年4月5日発行の市報をご確認ください。

① 雑木林ボランティア講座

調布に今も残る里山の風景や雑木林を、市民と市が協働で保全していくためのボランティア養成講座です。雑木林の理解と、市内の雑木林の維持管理に役立つ知識と技能を習得します。

- 1 日程／年6回（5～1月予定）
午前10時～午後3時（予定）
※室内講義と野外実習を行います。
※日程等はやむをえず変更する場合があります。
- 2 対象／18歳以上で
野外活動ができる方
- 3 定員／申込み順25人
- 4 受講料／1,500円（予定）
（ボランティア保険料・
テキスト代 ※全6回分）
- 5 企画・運営／ちょうふ環境市民会議



② 調布市環境モニター

市民と市が協働で調布の自然を見守り、自然環境の保全に役立てていくことを目的としたグループ活動です。調布の植物、鳥、昆虫などを講師や市民サポーターの案内で定期的に観察し、記録・調査を行います。

- 1 日程／年5回程度
（原則土曜日の午前中）
- 2 対象／18歳以上の方
- 3 定員／申込み順30人
- 4 費用／無料



③ 調布こどもエコクラブ

河川や緑地等における自然体験を通じて環境を学ぶ、子どもたちの環境活動クラブです。

- 1 日程／年7回程度（土・日曜日、祝日）
- 2 対象／市内在住、在学の
小学1年生～中学3年生
（小学3年生以下は保護者同伴）
- 3 定員／申込み順60人
- 4 費用／原則無料
（内容によって材料費
等の実費負担あり）



【参考】令和元年度の事業内容

- 河原の石観察・ストーンペインティング（多摩川自然情報館・多摩川河川敷）
- デイキャンプ・クラフト体験（都立農業高校神代農場）
- 植物観察・スケッチ（多摩川自然情報館・多摩川河川敷）
- 野川の生物調査（都立農業高校神代農場）
（※令和元年度は中止となりました）
- 多摩川水源バスツアー（山のふるさと村）
- 冬鳥の観察（多摩川自然情報館・多摩川河川敷）
（※令和元年度は中止となりました）

※令和2年度の事業内容は、調布こどもエコクラブに会員登録された方にお知らせします。

ちょうふ環境にゆ～す

未来へつなぐ調布の環境

●発行：調布市環境部環境政策課
●連絡先：電話：042-481-7086・7（直通） F A X：042-481-7550
メールアドレス：kanky@w2.city.chofu.tokyo.jp

※市ホームページでも、環境情報を提供しています（トップページ「まちづくり・環境」からご覧ください）。

2020年3月
第40号

刊行物登録番号
2019-232

目次

お知らせ情報

- ・プラスチックごみが世界的な問題になっています…………… 1

活動報告

- ・調布市環境モニターの活動…………… 2
- ・調布こどもエコクラブの活動…………… 2
- ・雑木林ボランティア講座の活動…………… 3
- ・調布水辺の楽校の活動…………… 3

会員募集

- ・令和2年度受講生・会員募集…………… 4
- ①雑木林ボランティア講座
- ②調布市環境モニター
- ③調布こどもエコクラブ

プラスチックごみが世界的な問題になっています

お知らせ情報

プラスチックは、ペットボトルなどの容器包装や家庭用品など、日常生活のあらゆる場所で利用されています。とても便利な一方で、ポイ捨てなど不適切に捨てられたプラスチックごみが海を汚しており、世界経済フォーラムでは、このままだと、2050年には海のプラスチックごみは魚の量を上回ると予測しています。

日本は、一人当たりのプラスチック容器包装の廃棄量が世界で2番目に多い国です。私たち一人ひとりが毎日の暮らしの中でプラスチックごみそのものを減らす取組をしていくことが重要です。皆さんも生活の中でプラスチックごみの減量を実践していきませんか。



【出典：東京都】漂着ごみの例（伊豆諸島にて）

プラスチックごみを減らすための行動例

- ・マイバッグを持参し、レジ袋はもらわない
- ・マイボトルを持ち歩き、使い捨てペットボトルやカップを減らす
- ・詰め替え用ボトルなど繰り返し使えるものを選ぶ
- ・清掃活動に参加し、不法投棄ごみを減らす
- ・ごみのポイ捨て、不法投棄はしない



東京都レジ袋対策より

東京都スマイルボトルプロジェクトより

調布市役所も取組を進めていきます

調布市では、これまでも市庁舎での環境マネジメントシステム（ISO14001）の取組や、家庭のごみの減量などを進めてきましたが、海洋プラスチック問題への対策として、更に取組を進めていきます。今後、市ホームページ等で公表していきます。



調布市環境モニター活動

活動報告

調布市環境モニター活動は、多摩川の植物を中心とした継続観察と記録によって、調布の自然を見守り、自然環境の保全に役立てていくことを目的とした、市民主体の環境学習事業です。

第1回 多摩川夏の植生調査・観察 令和元年7月6日(土)

多摩川自然情報館において、講師から市内や多摩川の自然環境について講義を受け、その後多摩川河川敷において河原に生息する植物等を観察記録しました。



第1回 活動の様子

植生調査出現リスト

【地点1】
アレチノハナガサ、オカブジラミ、オギ、キクイモ、クスタマツメクサ、コセンダングサ、コマツヨイグサ、シナダレスズメガヤ、ナガバギシギシ、ハルシャギク、マメグンバイナスナ、ユウゲショウ、ヨモギ

【地点2】
アオカモジグサ、アカツメクサ、エノコログサ、カタバミ、カゼクサ、コセンダングサ、コメツツメクサ、シマスズメノヒエ、シロツメクサ、セイバンモロコシ、ネズミムギ、ヒメショオン、ヘラオオバコ、マメグンバイナスナ、メシバ、ハズノエンドウ

第2回 雑木林のきのこの観察 令和元年9月28日(土)

都立農業高等学校神代農場において、東京農業大学の白川先生から「雑木林のきのこ」の生態学的重要性と分類の解説を受け、その後参加者それぞれがきのこ採集を行い、種の同定を行いました。



第2回 活動の様子

採集されたキノコの種類

イロガワリ、ウスキテングタケ、オトメノカサ、カヤタケ、カワリハツ、コフキササルノコシカケ、ツルタケ、ドクベニタケ、ノウタケ、フクロツルタケ、イグチの仲間、フウセンタケの一種

調布こどもエコクラブの活動

活動報告

調布こどもエコクラブは、河川や緑地等での自然体験を通じて身近な環境について学ぶ、子どもたちの環境クラブです。

第5回 「多摩川水源観察バスツアー」 令和元年10月5日(土)

奥多摩湖にある山のふるさと村へ行き、多摩川の水源を観察しました。自然解説員の方から、多摩川の水源について、また、奥多摩の林でツキノワグマの行動研究をされている小川先生から、ツキノワグマを中心に動物の分布と生態の解説を受けました。



第5回 活動の様子

第6回 「多摩川の鳥類観察」 令和元年11月23日(土)

多摩川自然情報館において、(公財)山階鳥類研究所研究員の森本先生から、多摩川に生息する鳥類についての解説を受けました。当日はあいにくの雨天だったため、室内で、図鑑を参考にしながら、鳥の線画色付けをし、鳥について学びました。



第6回 活動の様子

雑木林ボランティア講座の活動

活動報告

調布に今も残る里山の風景や雑木林を、市民との共同で保全していくため、雑木林ボランティア講座を実施しています。

第3回 雑木林の生態系(植物編) 令和元年9月7日(土)

雑木林とは一体どんな場所のことなのか、講義では土から樹木・生物までの生き物等の連鎖を学び、フィールドでは普段見過ごしてしまう昆虫なども見つけることができました。

第4回 雑木林の生態系(植物編) 令和元年10月26日(土)

入間樹林地で樹林の見方・植物のかたまり・樹林の高さの目測方法などについて実習を行い、講師の作成した調査票を基に、樹林の植物構成の調査を行いました。

第5回 雑木林の恵みを体験・花炭作り 令和元年12月7日(土)

講師と共にカニ山を散策しながら、その生い立ちを受講した後、草刈りなどの実践を行いました。その後はカニ山キャンプ場で火熾しを行う際の枝の組み方や順序などの講義を受け、グループに分かれ実習を行い、熾した火で花炭等の作成を行いました。

第6回 市内樹林地見学バスツアー・ワークショップ 令和2年1月25日(土)

午前中は市内の樹林地をバスで巡り、各樹林地で環境保全活動を行う市民団体から活動の様子などの説明を聞きました。午後は、今迄の講座を踏まえた「講座全体のふりかえり」「今後の活動について」等をテーマにワークショップを行いました。



第3回 活動の様子



第4回 活動の様子



第5回 活動の様子



第6回 活動の様子

調布水辺の楽校の活動

活動報告

調布水辺の楽校は、多摩川をフィールドに、子どもたちと保護者が川に親しむ自然体験活動です。市民・行政・教育団体等が一丸となって支援するとともに、世代を超えた交流を図っています。

第2回 多摩川クリーン作戦と昆虫観察 令和元年11月2日(土)

多摩川ニヶ領上河原堰近くの河原で、昆虫採集・観察を行い、布田小学校へ戻る間に、ごみ拾いをしました。大型台風の影響により、多摩川河川敷には大きな流木やごみが散在していましたが、当日は天気も良く、虫取りには良いコンディションの一日でした。



第2回 活動の様子

当日採集・観察できた昆虫・植物

<< 蝶類 >> ツバメシジミ、ヒメアカタテハ、ベニシジミ、モンキチョウ、モンシロチョウ、ヤマトシジミ
 << バッタ類 >> オンブバッタ、キリギリス、クサキリ、クビキリギス、コバネイナゴ、ササキリ類、ショウリョウバッタ、ショウリョウバッタモドキ、トノサマバッタ、ハネナガイナゴ、ヒナバッタ
 << その他 >> アマガエル(両生類)、カナヘビ(爬虫類)、オオカマキリ、ナナホシテントウ
 << 植物 >> アレチハナガサ、エノコログサ、オギ、オヒシバ、カントウタンポポ、キカラスウリ、クコ、クズ、コセンダングサ、セイタカアワダチソウ、セイバンモロコシ、チカラシバ、ニセアカシア、ハルシャギク、ヘラオオバコ、マツヨイグサ、ムラサキツメクサ、メリケンガヤツリ、ヨモギ

第3回 多摩川バードウォッチング 令和2年1月18日(土)

多摩川河川敷でのバードウォッチングを予定していましたが、雨天のため、布田小学校において双眼鏡の使い方や鳥の生態などについて説明を受けました。



第3回 活動の様子